

エースホテル京都に深く関わる世界的アーティストの特別な企画展

柚木沙弥郎 & Alexander Kori Girard 二人展

「East Meets West」

エースホテル1階ロビーギャラリーにて開催

企画展開催中には二人の作品を五感で楽しむ特別宿泊プランも販売！



柚木沙弥郎氏 作品



Alexander Kori Girard氏 作品



ホテルロビー(エレベーターホール ギャラリー)

エースホテル京都(所在地:京都市中京区、総支配人:ニコラス=ジェームス・ブラック)は、ロビーや客室内のアート制作に深く関わった染色家・アーティストの柚木沙弥郎氏とファブリックデザイナーAlexander Kori Girard(アレキサンダー・コリ・ジラード)氏の二人のアーティストによる企画展を2022年10月1日(土)から2023年1月10日(火)の期間、エースホテル京都1階ロビーギャラリーにて開催致します。

2022年10月に100歳を迎え、現在もなお活躍する日本を代表する染色家・アーティストの柚木沙弥郎氏。70年以上に渡る創作活動は世代を超えて注目を集め、日本における型染めの第一人者として国内外から多大な評価を得ています。柚木氏はエースホテル京都のロゴ、客室アート、ロビー、コーヒショップの暖簾を製作し、それらはエースホテル京都のビジュアルの象徴として圧倒的な存在感を放っています。今回の展示は館内3階のアメリカ風イタリアン・オステリア「Mr. Maurice's Italian」のタイルデザインとファブリックパネルデザインをしたAlexander Kori Girard氏との共同企画展です。Kori氏は、ミッドセンチュリーを代表する建築家・デザイナーのAlexander Girard氏の孫にあたり、祖父のDNAを受け継ぎ、多彩な色やパターンを折り込む独自のスタイルを確立しています。

企画展のコンセプトは「East Meets West」。柚木氏は60代の頃旅したニューメキシコ州サンタフェで訪れたAlexander Girardのクラフトミュージアムが自分が作品を作る上でターニングポイントになったと語ります。それは訪れた時に感じた「もっと自由でいいんだ！」という気づきでした。それから40年以上が経った今でも、まるで昨日のこのように話す姿はその瞬間がどれだけ本人にとって大切な瞬間だったかを教えてくれます。一方、Kori氏はサンタフェで育ち、幼い頃から自宅近くの国際民芸博物館や日本から送られてくる品々を通して民芸品に触れ、惹かれていました。2006年に初めて日本を訪れ、その文化、特に民芸品に大きな影響を受けました。お互いに異なる場所で繋がり、世代を超え大きな影響を与え合った二人がエースホテル京都という場所で、コミュニケーションのアートコンセプト「East Meets West」で出会います。柚木氏の作品に対して、まるでアートを介して文通をするように、Kori氏が作品を製作しました。一作品ごとのコラボレーションはホテルのコンセプトに通じるものがあります。また柚木氏の作品の中には、これまで世の中に公開せずに眠っていたアートもあり、ファンにとっては待望の機会となります。

ロビーギャラリーでの企画展開催中、エースホテル京都では二人のアーティストの作品をより身近に感じていただける宿泊プランを販売致します。客室アートをご覧頂くほか、Kori氏のパネルデザインが飾られている「Mr. Maurice's Italian」でのディナーや柚木氏のオリジナルグッズのプレゼントなど二人の作品を感じながら滞在できる特別なプランです。さらには11月11日(金)から12月25日(日)までの間にご宿泊をご希望のお客様には、美術館「えき」KYOTOで開催中の「くらし」と「人生」をテーマにした展覧会「柚木沙弥郎 life・LIFE展」へのご招待券をプレゼント致します。この機会に是非、二人のアーティストが織りなす空間と世界観を五感で楽しんでみては如何でしょうか。

<本件に関する報道関係者のお問合せ先>

「エースホテル京都」 担当： 八田由貴、中村ケニー

E-mail: acehotel_pr@ok-chan.com

Ace Hotel Kyoto

「柚木沙弥郎 & Alexander Kori Girard 二人展」概要

日時 : 2022年10月1日(土)から2023年1月10日(火)
場所 : エースホテル京都1階 ロビーギャラリー

<内容>

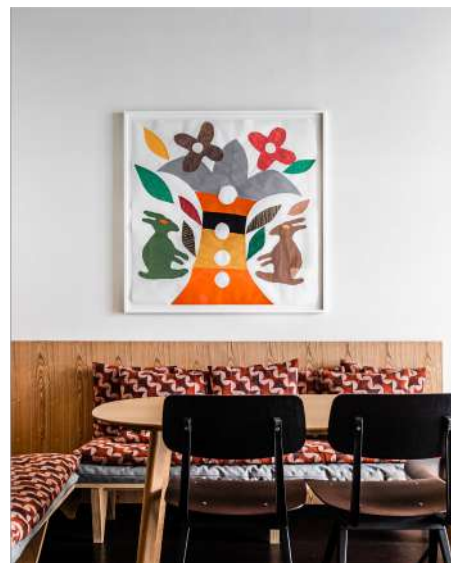
染色家・アーティストの柚木沙弥郎氏とファブリックデザイナーAlexander Kori Girard氏の二人のアーティストによる企画展。各アーティスト6点ずつの作品、計12点を展示します。企画展のコンセプトは「East Meets West」。柚木氏は60代の頃旅したニューメキシコ州サンタフェが、自分が作品を作る上でターニングポイントになったと語ります。それはAlexander Girardのクラフトミュージアムを訪れた時に感じた「もっと自由でいいんだ!」という気付きでした。一方、Kori氏はサンタフェで育ち、祖父母の家からも国際民芸博物館からも数分しか離れていない二つの環境で幼少期～青年期まで多くの時間を過ごしました。Kori氏は幼い頃から日本から送られてくる品々に特に惹かれ、2006年に初めて日本を訪れ、その文化、食べ物、そして特に民芸品に大きな影響を受けました。お互いに異なる場所でつながり、世代を超え大きな影響を与え合った二人がエースホテル京都という場所で、コミュニケーションのアートコンセプト「East Meets West」で出会います。柚木氏の作品に対して、まるでアートを介して文通をするように、Kori氏が作品を製作しました。一作品ごとのコラボレーションはホテルのコンセプトに通じるものがあります。

<宿泊プランについて>

企画展開催中、二人のアーティストの作品をより身近に感じていただける宿泊プランを販売致します。柚木氏の客室アートをご覧頂くほか、Kori氏のパネルデザインが飾られている「Mr. Maurice's Italian」でのディナーや柚木氏のオリジナルグッズのプレゼントなど二人の作品を感じながら滞在できる特別なプランです。

宿泊プラン期間 : 2022年10月1日(土)～2023年1月10日(火)
宿泊プラン価格 : 32,318円(サービス・税込)～
宿泊プランのご予約 : <https://jp.acehotel.com/kyoto/offers/>

* 11月11日(金)～12月25日(日)までの間にご宿泊をご希望のお客様には、美術館「えき」KYOTOで開催中の「暮らし」と「人生」をテーマにした展覧会「柚木沙弥郎 life・LIFE展」へのご招待券をプレゼント。
<https://kyoto.wjr-isetan.co.jp/museum/index.html>



柚木氏の客室アート

アーティスト紹介

■ プロフィール 柚木沙弥郎 (ゆのき・さみろう)

染色家・アーティスト。1922年、東京都生まれ。1942年、東京帝国大学文学部美学・美術史科に入学。1946年、岡山県の大原美術館に勤め、柳宗悦の「民藝」に出会い、芹沢銈介に師事し染色家に。1972年に女子美術大学の教授、1987年からは学長を務めた。染色のほか、版画、人形、絵本などさまざまな作品を制作・発表。国内の公立美術館のほか、フランス国立ギメ東洋美術館でも展覧会を開催。写真撮影・木寺紀雄



■ プロフィール Alexander Kori Girard (アレキサンダー・コリ・ジラード)

1979年生まれ、ニューメキシコ州サンタフェ出身。クリエイターの家系に生まれる。祖父のAlexander Girardは、世界的に有名な偉大なるデザイナーであり、Koriに高い美意識と民芸品の手法や伝統に対する深い視覚的な影響を与えた。Koriは2001年にニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツでグラフィックデザインとイラストレーションを学び、卒業。それ以来、自身の芸術とデザインの活動を行うと同時に、家族と協力しながら祖父の遺志を守り、作品の普及に力を注いでいます。Kori氏はバークレイ美術館のプライベートコレクション、東京のジャック・ハンレー・ギャラリーやキュレーターズキューブで展覧会を開催し、2016年からはJohansson Projectsでも作品を展示する。現在、カリフォルニア州バークレイで創作活動中。



Ace Hotel Kyoto

Mr. Maurice's Italian(ミスター・モーリスズ・イタリアン)について

ルーフトップバーを備えたアメリカ風イタリアン・オステリア。アメリカに渡ったイタリア系一家に生まれたフィラデルフィア出身の人気イタリアンシェフMarc Vetri(マーク・ヴェトリ) 監修のMr. Maurice's Italian(ミスターモーリスズイタリアン)では「レッドソース・イタリアン」と呼ばれる家庭料理のメニューをベースにしながら、洗練された素材やテクニックを使いモダンイズされた味わいを提供いたします。



Mr. Maurice's Italian店内の床と可動式パネルはAlexander Kori Girard氏が製作したもの。祖父のテキスタイル・デザインに敬意を払い、多彩な色やパターンを織り込む独自のスタイルを確立しています。グローバルでありながら、フォークな印象もしっかり感じるダイニング空間を演出しています。

宿泊プランを購入のお客様には、Kori氏のパネルデザインが飾られている「Mr. Maurice's Italian」でのディナーをお楽しみ頂けます。

www.mrmauricesitalian.com

エースホテル京都について

名称	エースホテル京都(日本語表記) / Ace Hotel Kyoto(英語表記)
住所	京都府京都市中京区車屋町245-2 新風館内
開業日	2020年6月11日
総客室数	213室(客室部分2階~7階、保存棟26室、増築棟187室)
料飲施設 その他施設	レストラン3店舗(うち1店は営業開始2023年予定)、コーヒーショップ1店 オリジナルグッズショップ、ギャラリー、宴会場1、会議室3、ルーフトップ、屋上庭園、 フィットネス・ジム、フォトブース
駐車場	なし
ホームページ	https://jp.acehotel.com/kyoto/
LINE公式アカウント	https://lin.ee/t2Y6HcB (レストラン、イベント、宿泊のお得な情報やLINE限定のコンテンツを配信)

<ホテル概要>

1999年米国シアトルで若いクリエイター集団によってスタートして以来、現在全世界に10店舗をホテルを展開。アートや音楽を軸に、クリエイティビティあふれるインテリアデザインや、広く開かれたロビースペースの活用などで、旅行者だけでなくコミュニティと結びついたそれまでになかった形のホテルとして日本でも注目を浴びてきたホテル。エースホテル京都は初のアジア及び日本出店となり、今後もアメリカ国外での出店を目指す。

コンセプトが「East Meets West」のエースホテル京都は、著名建築家・隈研吾氏、長年のパートナーであるコミュニケーションとのコラボレーションにより、「イースト ミーツ ウェスト」というコンセプトのもとデザインされた。日本とアメリカ西海岸のアーティストや職人によるクラフト、自然、地域の素材、カスタムアート。「美的哲学、アイデアと伝統」がバランスよく融合された、新しい感覚の空間・アート作品を、宴会場、客室だけでなく館内のいたる所に配置。



袖木沙弥郎氏製作
Stumptown Coffee Roasters暖簾

<本件に関する報道関係者のお問合せ先>
「エースホテル京都」 担当： 八田由貴、中村ケニー
E-mail: acehotel_pr@ok-chan.com